

目次

第1章 集団

- 社会集団
- 家族
- 組織

第2章 心理と行為

- 社会心理
- 行為
- 相互行為

第3章 地域社会

- 都市
- 階級
- 労働

第4章 社会構造と変動

- 社会構造
- 社会変動

第5章 逸脱と文化

- 逸脱
- 文化
- マス・メディア

第6章 現代の社会学

第7章 社会調査

社会学の特徴

社会学は、公務員試験の「専門科目」として出題される科目の1つです。出題される公務員試験は、下表のようになっています。

★出題される公務員試験		
試験名	択一問題出題数	難易度
国家一般職大卒	5問	★★
財務専門官	3問	★★
国税専門官A 労働基準監督官A	2問	★★
法務省専門職員	10問	★
東京都特別区I類	5問	★
地方上級（中部・北陸型）	2問	★

※東京都I類Bは記述のみで択一問題の出題は無し

社会学は、法律系や経済系の科目と比較すると**出題数は少なめ**になっています。したがって、学習する際はたっぷりと時間をかけてしまわないように**程々の学習**を心掛けましょう。

次に出題の内容ですが、主に「**言葉の意味**」や「**人物と主張内容**」が試験で出題されます。過去の出題パターンを分析すると、以下のような特徴があります。

- 問題文で「Aの説明」といっているが「Bの説明」になっている
- **同じ問題内**で人物やキーワードが**逆**になっている
- それぞれの学者の立場を問われる（提唱しているのに批判したなど）

上記のような特徴をふまえ、学習をする際は①言葉の意味や人物のチェック、②①で学習した範囲の問題を解く、③②の復習という流れを意識しましょう。問題を解く際は、国家一般職の過去問は最後にして他の試験の過去問を解いていきましょう。試験前は、「反復して問題を解く」ことが何より重要です。